



田植え体験 石仏小学校5年1組

6月14日、惣代地区の「NPO 法人里山ひだまりファーム」が運営する棚田で、「田植え体験」学習が行われ、民生委員・児童委員1人が参加しました。この体験は毎年石仏小学校の5年生を対象に、同NPO法人の協力で行われており、今年は36人の児童が参加しました。

田植えに先立ち、児童達は同NPO法人のメンバーから、手植えの仕方について説明を聞いたあと、両側から裸足で水田に入り、中央に向かって後ずさりしながら苗を植えました。最初は水田に足を踏み入れることも躊躇する児童たちでしたが、一度水田に入ると泥んこになって田植え体験を楽しみました。

そして最後に、現在田植えで使用されている最新の田植え機の説明を聞き、約1時間半で無事「田植え体験」を終え、学校への帰途につきました。



↑

手植えをする児童たち →

<児童の感想>

- やってみて、田植えはこんなに大変なんやなって思った。
- 田植えで、こんなに時間をかけてやってることがすごいなと思った。
- 最初は泥んこでいややなと思ったけど、やってみたら面白かった。
- すべて溝にはまったけど、虫もいっぱいいてよかったし、楽しかった。

重層的支援体制・・・、はて？

令和6年度 重層的支援体制整備事業に係る全体会が5月27日、河内長野市役所802会議室で行われ、吉田妙子会長はじめ8人の地区委員長が参加しました。この会議は、今年度から本格的に実施される重層的支援体制整備事業の内容と本事業が目指すものを、民生委員・児童委員や市役所、社会福祉協議会などの関係機関が理解と共通認識を持つことを目的としています。

東部昌也（とうべ・まさや）副市長のあいさつのあと、本事業のスーパーバイザーである武庫川女子大学心理・社会福祉学部松端克文（まつのはな・かつらみ）氏による「重層的支援体制整備事業の意義と必要性」というテーマで講演がありました。松端氏は「住民の多くは福祉制度やサービスのことを知らないでいます。また、相談の内容によって担当部署の垣根があるのが現状です。制度中心の福祉から住民の思いや意思中心の福祉へ変わっていくことが重要です。言い換えれば、丸ごと受け止め相談を断らない支援が必要ということです。それが重層的支援体制整備事業で、地域共生社会実現へ向けた施策です」と話していました。

.....

第1回全体研修会が5月31日、民生委員児童委員大会のあと実施されました。地域福祉高齢課内倉正隆氏と社会福祉協議会井口裕美氏がほっとかへん体制づくり（重層的支援体制整備事業）について講演を行いました。

内倉氏は「今年度から河内長野市が目指す支援体制は、困っている人からの相談を断らない、分野を超えて支援方法を検討する、相談者が社会参加できる場づくりを行うものです」と説明しました。次に、井口氏は「民生委員・児童委員の皆さんには、各地区で実施する『みじかサロン』ワークショップで『ほっとくしかない人』を教えてください」と委員への依頼を述べました。

参加者の1人は「1回聴いただけではなかなか理解できません。『ほっとくしかない人』を減らして、自分から困りごとを相談できる人が増えるようにしたいと思います」と感想を述べていました。



井口氏の講演を聴く参加者たち



4月から小中一貫校となってスタート！

南花台小学校・南花台中学校

小学生の通学路が変わり、民生委員・児童委員も新たなポイントで見守り活動に参加しています。例年4月の小学生の集団登校も終わり、5月から各自で登校していますが、横断歩道を渡る小学生を中学生がそっと手を添え守る仕草も見られ、また人数が増えて活気が増し、これまで以上に積極的な挨拶も聞かれます。

2ヶ月が経過した5月末、安田喜孝小学校校長と上代婦美子中学校校長に学校での子どもの様子を聞きました。「小学生は当初は新しい環境に戸惑いも見られたが、休憩時間には運動場の真ん中でドッジボールをしたり、『^{じゅげむ}寿限無』を覚えたから聞いてほしいと両校長室を訪れたりするなど、のびのびと過ごしています」「学年を交えた縦割り集団で取り組む行事や日々の掃除で、中学生は小学生に見られている、頼られている中で自分の役割を感じ、年長者としての自覚や心の広がりを感じられます。秋には合同での運動会が予定されており、双方さらに学び合うことが大いに期待されます」と両校長は話していました。



一貫校になって賑やかになった通学路

ようこそ「みじか」へ！

6月11日、泉佐野市民生委員児童委員協議会の広報部会の小笠原秀之部会長はじめ10人がゆいテラスを訪問、安田宗義副会長と洞淵元秀広報委員長、事務局2人との意見交換会を行いました。小笠原部会長はあいさつの中で「5年ほど前から河内長野市民児協の広報委員会と交流したいと思っていました。ぜひ、河内長野市民児協が全戸配布しているしくみと、毎月アップしている『みじかNOW』について勉強したいと思います」と訪問の目的を述べました。

質問に対して、洞淵委員長からは広報紙『みじか』の折り込み時期や方法、事務局からは折り込みにかかる費用の説明がありました。また、安田副会長は『みじかNOW』発行と「取材メモ用紙」使用の経緯を話しました。その後も、広報紙の題字や新聞作成ソフトなどいろいろな意見

交換が行われました。参加者の1人は「話を聞いていると、河内長野市民児協の広報委員会はこちらの数倍の努力をされていることに驚きました。河内長野市民児協の広報委員会に追いつけるようがんばりたいと思います」と抱負を語っていました。



活発に行われた意見交換

7月から8月の予定



令和6年7月3日	水	13:00~	会長副会長会議	社会福祉協議会会議室
令和6年7月5日	金	13:00~15:45	大阪府民生委員児童委員大会	大阪国際交流センター
令和6年7月9日	火	9:00~14:00	障がい者部会研修	ハートコープいずみ
令和6年7月10日	水	10:00~12:00	心配ごと相談	社会福祉協議会会相談室C
令和6年7月10日	水	10:30~12:00	児童部会研修会	子ども子育て総合センターあいつく
令和6年7月10日	水	13:00~	地区委員長会議	社会福祉協議会会議室
令和6年7月12日	金	9:30~	主任児童委員部会研修	かわちラボ
令和6年7月18日	火	13:00~14:00	児童部会研修会	かわちラボ
令和6年7月24日	水	10:00~12:00	心配ごと相談(みじかサロン) 千代田西	千代田公民館
令和6年7月26日・27日	※土	10:00~16:00	愛・いのち・平和展	キックス
令和6年8月14日	水	10:00~12:00	心配ごと相談	社会福祉協議会会相談室C
令和6年8月18日	日	13:30~15:30	PR映画会	ラプリーホール小ホール
令和6年8月23日	金	9:30~	PR映画会、子育てサロン実行委員会	社会福祉協議会会議室
令和6年8月28日	水	10:00~12:00	心配ごと相談(みじかサロン) 天野小山田(天野)	天野公民館